

兵庫県

兵庫県退職校長会連盟

結成 昭和42年 8月12日

◇ 主な活動

本連盟は、兵庫県公立小・中・高等学校の3つの退職校長会の連盟として教育尊重の実をあげ、日本の教育振興に寄与することを目的とする。

各单位団体は、独自の活動をしながら、連盟として全国連合退職校長会や近畿地区協議会の活動に参画する。

また、県教育委員会や校長会との連携を密にしながら、研修活動や教育支援活動、親睦活動などを行っている。



平成大改修後の世界遺産 姫路城

《兵庫県小学校退職校長会》(樟樹会)

連盟事務局を担当

主な活動内容は次の通りである。まず、各地区持ち回りでの総会・懇親会。広報活動として、会員名簿・会報「樟樹」(年2回)・樟樹会だより等の発行。親睦活動としては、1泊2日の「出合いの旅」。福祉活動としてはクラブ活動(俳壇樟樹・地区散歩)や慶弔活動を実施している。さらに、個人またはグループでの縁故学校との交流活動、地区教育活動への参加支援などの教育支援活動を実施している。

《兵庫県中学校退職校長会》(のじぎく会)

近畿地区協議会を担当

会員の親睦と研修を深めるべく、次のような活動を展開している。まず、各地区持ち回りでの総会・研修会・懇親会。「新兵庫探訪の旅」と称する研修旅行。全県下より120名を超す参加者を集めての「親睦ゴルフ大会」。各市郡町役員を集めての「役員合同研修会」。広報誌「のじぎく会報」、「会員名簿」の発行等々である。また、現職校長を準会員に迎えて学校との連携を深め、教育現場支援の在り方を模索しているところである。

《兵庫県公立高等学校退職校長会》(柏樹会)

県教育委員会関連を担当

会の目的を「会員相互の親睦・福祉の増進、国及び県の教育振興に寄与」とし、年会費から一部補助して県下7地区ごとの活動、退職年度を同じくする33同期会、趣味を同じくする18同好会で、それぞれ活発な活動を支援している。昭和55年にスタートした「柏樹会だより」を平成7年度より年2回発行し、個人、同期会、同好会、地区活動などの情報の周知に努めている。

また、社会貢献の一環として、平成8年度より「人材活用講師一覧」の冊子を発行、県下の公民館等に配布して、その活用に役立てている。